

近時世間ニ喧シキモノハ何ゾヤ曰ク商業困難  
ナリ或ハ曰ク其ノ救済策ナリ夫レ然リ金  
閉塞信用地ニ墮チ商業沈滞製造衰微全國商  
業家ノ困難實ニ甚シキハ争フベカラザル事實  
ナリ  
此ノ事タル當校友會諸君ト直接ノ關係ナキガ  
如シ然リト雖モ諸君身ヲ横濱ニ置ク以上ハ横  
濱ノ盛衰ハ直接間接ニ諸君ニ影響スル所ナシ  
トセズ又横濱ノ商業ハ單ニ横濱一港ヲ以テ行

ハルベキモノニ非ズ總テ一國ノ商業一國ノ製  
造ニ關係ヲ有タルヤ明カナリ尤レバ間接ニ校  
友會諸君ノ參考ニ資スル所アルベシ

然ラバ則チ此ノ救濟策如何徒ニ救濟策ト云フ  
モ先ツ其源因ヲ究メズシテ單ニ其ノ現レタル  
事實ニ依ルハ猶庸醫ノ病根ヲ究メズシテ單ニ  
局所ノ痛痒現在ノ症候ノミニ由リテ治療スル  
ガ如シ焉ンゾ根ヲ絶チ源ヲ塞ギテ起死回生ノ  
妙効ヲ奏スルヲ得ニヤ或ハ姑息ノ治療ノ為メ  
ニ却テ後患ヲ招ギ一層病患ヲ重クスルガ如キモ

亦往々見受クル所ナリ故ニ其ノ源因ヲ究メザ  
ルベカラズ

今日不景氣ノ源因何レニ在ルヤ諸君ノ知ラル  
、如ク第一ノ原因ハ戦争ナリ此經濟社  
會ヲ攪亂スル力ハ實ニ恐ルベシ是レ獨リ日本  
ノミナラズ又外國トノ戦ノミナラズ内亂ニ於  
テモ外戦ニ於テモ日本ニテモ亞米利加ニテモ  
歐羅巴ニテモ戦争一たび起レバ財政ヲ紛擾シ  
經濟ヲ攪亂スルハ古今同一ナリ何トナレバ戦  
ノ起ルヤ驚クベキ巨額ノ金ヲ要ズ故ニ脅迫

シテ公債ヲ募リ或ハ脅迫シテ公債ヲ募リ或ハ脅迫シテ租税ヲ徵收シ或ハ國民ノ愛國心ニ訴ヘテ寄附金ヲ募リ或ハ外國ヨリ金ヲ齎シ來リ以テ戰費ニ充ツ其時ニ當テハ國家ノ存立國家ノ盛衰存亡ニ關スルヲ以テ國民ノ財產生命ヲ犧牲トシテ戰ハサルヲ得ズ國民皆敵愾心ヲ奮起シ競テ金ヲ出シ國民ノ精神悉ク此ノ戰爭ニ注ゲリ故ニ高賣モ製造モ皆中止シタル有様ニテ速ニ平和ヲ望ミ或ハ勝利ヲ望ムト云フ一方ニ國民ノ精神ヲ注グヲ以テ先ツ平日ノ衣服飲食

居處極メテ節約ニ從ヒ室壞レテ雨ヲ漏ストモ修メズ疊破レテ塵ヲ生スルトモ換ヘズ食物モ糲藿ヲ甘ンジ衣服モ新ニ購ハズ從テ高業モ不景氣トナリ諸製造場モ不景氣トナルベシ戰爭ノ大小ト性質トニ由リテ僅々ノ年月ニ何千萬何億萬ト云フ金ヲ費消スルモノナリ明治十年ノ西南ノ役ハ内亂ナリ此時ニ費消シタル金ハ四千二百何十萬圓トテ殆ント四千三百萬圓ニ近キ金ナリシ此ヲ今日ノ貨幣ニ直セバ八千五百萬圓ナルベシ八千五百萬圓以上ノ金ヲハケ月

乃至九月間ニ貴消シタリ即チ一ヶ月ニ一千  
萬圓以上ヲ消費シタルナリ其結果如何ナリシ  
ヤト問ヘバ三年四年五年ノ間ハ物價騰貴高賣  
盤高商品ハ仕入レテ儲ケザルナク所謂市ニ近  
テ利ニ倍スルノ有様ナリシ從テ諸製造所モ盛  
ンニ製造セリ盛ナルノ極何時ノ間ニカ生産過  
度商賣過度ノ弊ヲ來シ七年八年ニ至リ非常ノ  
不景氣トナリ非常ノ慘毒ヲ流セリ  
夫レヨリ外國ノ例ヲ引ケバ亞米利加ノ南北戰  
争ハ前後四年ニ亘リ廿七億萬圓ヲ貴消セリ

日本ノ金ニ直セバ殆ニド五十億萬圓ニ當レリ  
此レ實ニ世界ニ有名ナル大戰ニシテ北部ハ二  
百萬圓以上ノ兵ヲ動カシ南部モ百萬以上ノ兵  
ヲ動カシ一國ノ内亂ニシテ世界ニ比類ナキ大  
戰ヲナシタリ平和一タビ成ルヤ商賣製造ノ繁  
榮ハ廿八年廿九年三十年ニ亘ル日本ノ諸會社  
諸製造及ヒ鐵道勃興ノ比ニ非ズ物價騰貴シ  
紙幣ハ半價以下ニ下落セリ然レドモ其繁榮ハ  
實ニ亞安時ノ夢ニシテ亞米利加ノ銀行史ニ比類  
ナキ慘毒ヲ流シタル所ノ恐慌來レリ則チ七十三

年ハ獨リ亞米利加ノミナラズ世界ニ及ボス大  
恐慌ヲ來タセリ戰争ノ後ニ繁榮來リ繁榮ノ後  
ニ恐慌來ル各國共ニ大抵同ジ原則ニ依テ動ク  
故<sup>借カ</sup>今日ノ不景氣ハ如何ナル所ヨリ導カレタ  
ル<sup>日清</sup>七年八年ニ亘ル大戦<sup>日清</sup>ノ僅々一ヶ年強ノ歳  
月ニ二億萬圓以上ノ金額ヲ費消セシメ由リテ  
●日本ノ財政ノ割合ヨリ算當スレバ亞米利加  
が四年間ニ廿七億萬圓即チ日本ノ金トナセバ  
五十億萬圓以上ヲ費消シタルニ讓ラザルベシ

日本財政ノ割合ヨリ算當スレバ亞米利加が四  
年間ニ廿七億萬圓即チ日本ノ金トナセバ五十億  
萬圓以上ヲ費消シタルニ讓ラザルベシ大金費  
消ノ結果ハ一時ノ繁榮ヲ來タシ其反動ハ今日  
ノ不景氣ヲ來タシタルノ前ニ述ベシ原則ニ背  
カザルナリ然ルニ日本ニ一ノ大患シ生  
ゼリ何ゾヤ戰後經營ト云ヘル大患是レナリ戰  
後ノ經營ハ内外ノ形勢ニ迫ラレ國家ノ生存國  
家ノ威嚴ヲ保ツニ於テ實ニ己ムヲ得ガレ譯ナ  
レバ政治上ノ觀察ヨリスレバ余モ此點ニ就テ

敢テ批難スルニ非ズ單ニ經濟上ノ觀察ヲ以テ  
スレバ突然タル膨脹ハ急激ノ變化ヲ來タシ却  
テ一ノ疾病ヲ醸セリト言ハガルヲ得ズ何トナ  
レバ戰後經營ノ結果トシテ財政膨脹シ非常ナ  
ル財政膨脹ノ結果トシテ支那ノ償金ヲ廢棄ス  
タルモ猶足ラズ終ニ一億三千五百萬ノ事業公  
債ヲ募テ經費ニ充テザルヲ得ガル有様トナレ  
リ加之更ニ人カノ避クル能ハガル天災即チ明  
治二十九年三十年ニ亘ル所ノ凶歲ニ遭遇セリ  
若シ開港前則チ運輸交通未ダ開ケガル以前

ニ此ノ如キコアラシメバ天保ノ饑饉天明ノ饑  
饉或ハ享保ノ饑饉ト云ヘル如ク幾十萬ノ餓死  
者ヲ出シテ後來ノ歴史ニ残スヘキ非常ノ慘毒  
ヲ流シタルナランガ幸ニ外國ノ貿易ナルモノ  
アリテ日本ノ米ノ不足ハ印度緬甸或ハ柴棍其  
ノ他ノ裕餘アル所ヨリシテ一、電報ノ下ニ一  
月以内ニ何十萬石何百萬石ノ米ガ續々入津シ  
其ノ横濱ナリ神戸ナリニ着スルヤ蒸氣船ヲ以  
テ地方ニ分配セラル、ヲ以テ此ノ如ク恐ルベ  
キ凶歲ナルニモ係ラズ幸ニ一人ニ餓死シタル

△米ノ不足セル

モノナシ昨年ヨリ當年ニ亘リ少クトモ百萬噸ノ輸入米アリ之レヲ石數トナセバ凡ソ七百萬石之レヲ金ニ積レバ凡ソ七千萬圓ノ巨額ニ達セリ七百萬石ト云ヘバ少クトモ五六百萬乃至六七百萬ノ人口ヲ養フベキモノナリ九レバ二年ニ亘リタル凶年ハ餘程ノ凶年ナリシナラン此ノ如キ凶年ニ際セバ單ニ凶年ト云ヘルノニテモ非常ナル不景氣ヲ来タスベシ況ンヤ是ハ餘症ニシテ戰後ノ經濟上ノ變動ハ其ノ一大病根タルニ於テヤ

此ノ如ク非常ナル不景氣シ如何ニシテ救済スベキヤ此ノ病氣ノ源因ハ已ニ明瞭ナレバ是ヨリハ其ノ治療法ヲ講究セザルベカラズ余昔シ蘭書ヲ讀ミシ時醫師ト共ニ學ビシヲ以テ稍醫術ニ通ゼリ室扶斯則チ昔ニ稱ヘシ所ノ熱病ハ初メニ惡寒出テ、夫ヨリ熱ヲ發ス初メテ熱ヲ發セシヨリ種々經過シテ五週間ノ日子ヲ要ズ其ノ初メヲ初期ト云ヒ其次ギヲ進期ト云フ段々病勢ノ進ム時期ナリ其次ギヲ極期ト云フ病勢極端ニ達シ死活ノ界ヲ定ムル時期ナリ其

次ギシ極期ト云フ病勢極端達シ死活ノ界ヲ  
定メシ時期ナリ其次キヲ退期ト云フ病勢稍退  
ク時期ナリ死レド此ノ退期ニ病人衰弱シ却テ  
死ニ至ル病人ノ死スルハ極期ヨリ退期ニ多シ  
夫レヨリ第五期ヲ復期ト云フ則チ健康體ニ  
復スル時期ナリ經濟ノ原理モ或ハ斯ル譯合  
ナランカ故ニ今日經濟上ノ都合ヲ期ニ分テバ  
余ハ極期已ニ過ギテ退期將ニ來ラントスルノ  
時ナルベシト思ヘリ已ニ退期トナレバ病ノ源  
因已ニ過ギ去テ恢復ニ近ケルヤ疑フ可カラズ

七

ト雖前述ノ如キ危険アルヲ以テ先ツ少量ノ滋  
養品ヲ與フルニ如カズ過度ノ滋養品ヲ與フレ  
バ却テ其ノ為メニ誤ラル、コアリ  
今政府ニ於テ公債ヲ買上ケ居レリ又勸業銀行  
ノ働キヲ見レバ製造業其他ニ保護ヲ與ヘラ  
ル、ニ似タリ是ハ其事ノ起ル當時ニ余モ承知  
シ多少同意シ置ケリ死レド其働キニ就テハ一  
層機敏ニ一層大ニ同時ニ此ノ公債ナルモノノ  
價額ヲ額面百圓ナレバ百圓ニ近キ迄ニ進メラレ  
ンコトヲ望ム此レ一ハ今日ノ困難ヲ救済スルノ



一法トシテ一ハ政府ノ信用ヲ恢復スルノ一法  
トシテ之レヲ希望スルナリ夫レ信用ノ目途ハ  
公債ニ與ヘアリ政府タルモノ公債ノ價ノ減ズ  
ルヲ坐視シテ之ヲ放擲スルハ則チ自ラ自己ノ  
信用ヲ破壊スルモノナリ豈ニ危険ナラズヤ又  
政府ノ今既ニ法律ニテ定メ居ル公債ハ一億六  
千萬圓以上ナリ故ニ尚公債ヲ市場ニ賣ラザル  
ヲ得ズ此ノ如キ負債ヲ起サザル可カラザルニ  
モ係ラズ政府ノ信用ヲ減スルガ如キハ憂フベ  
キ事ナリ支那若シクハ土耳其ノ如キハ抵當ナ

クシテ金ヲ借ル丁能ハズ堂々タル國ノ信用政  
府ノ信用ヲ以テ金ヲ借ル能ハザル如キニ至テ  
ハ驚クベキナリ國ナルモノハ最モ確實ナルモ  
ノニシテ充分ノ信用ヲ有タザルベカラズ何チ  
萬何億萬何十萬タリトモ金ヲ借り得ラルハ  
國家ノ鞏固ナル證據ニシテ歐米ノ鞏固ナル文  
明國ハ皆之ヲ以テ立テリ今後國運ノ進歩スル  
ニ從ヒ經費モ次第ニ増加シ又國家ノ形勢ニ依  
テハ特ニ入費ヲ要スル丁アリテ租稅ヲ増シ或  
ハ國債ヲモ増スト云フ棄起ルベシ故ニ我邦ノ

經濟上單ニ今日一時ノ不景氣ヲ救済スルノミ  
ナラズ速ニ政府自カラノ信用ヲ恢復シ國家經  
濟ノ基礎ヲ確ク置クハ目下ノ第一要務ナルベ  
シト信ズ又従来日本銀行ハ政府經濟ノ機關ナ  
ルト同時ニ政府財政ノ機關ナリ其ノ財政ノ機  
關が何故ニ自己ノ出シタル公債ノ信用ヲ低ク  
スルカ是亦一ノ問題ナリ近來公債ノ價稍昂  
進ノ傾向アリ此際一層公債ノ價ヲ高ク且ツ勸  
業銀行ノ働ヲ付ケタラニハ漸次恢復ノ運ニ  
向フベシ此ノ恢復ノ間ハ病後ニ過度ノ滋養西

九

ヲ戒ムルガ如ク外資ヲ輸入シ或ハ一時ニ大ナ  
ル公債ヲ仕拂フガ如キハ今日熟考ヲ要ズベキ  
事ナルベシ又今日日本ノ信用ヲ以テ巨額ノ外  
資ヲ募ルトキハ外國ノ資本家モ少シク疑ヲ起  
シテ遂ニ國ノ信用傷クルコトナクニバアラズ饑  
饉ヨリ来リタル病ハ當年麦が出来又秋ノ收穫  
豊穰ナルトキハ恢復スルヲ得ベシ一時ニ巨額ノ  
金ヲ費セシ方ヨリ来リタルモノハ國ノ總テノ  
經濟上ノ大ニ必要ナル點ヨリ貨幣止マレバ其  
時ハ恢復ノ期ニ向フベシ斯ノ如クナレバ貿易

ノ権衡ヲ失ツタルモノモ大抵平準ヲ得ルナラ  
シ

終リニ臨ンデ近來ノ大切ナル一ノ問題ヲ簡單  
ニ述ベントス近來ノ最モ大切ナル一ノ問題ト  
ハ遂ニ議會ハ解散サレ内閣ハ昨日辭表ヲ出サ

レタリト云フ事柄ナリ是ハ如何ナル原因  
辭表<sup>内閣</sup>ノ事ナリ昨日ノ事<sup>ハ</sup>未ダ其原因

ヲ詳ニセズト虽モ議會解散ノ重ナル理由ハ  
議會ガ地稅ノ増加ニ反對シタリト云フニ在ラ  
シ今日國運ノ進歩ニ伴フテ國費ヲ増スハ避ク

十

ベカラザル事ナリ國費ノ増スニ就テハ國ノ富  
モ隨テ増加シタルニ相違ナケレバ國民ノ富ノ  
一部分ヲ以テ國家ノ入費ヲ拂フト云フ以上ハ  
成ルベク國ノ生産カヲ害セズ國民ヲ煩ハス  
少クシテ政府ガ目的<sup>ノ</sup>歲入<sup>ヲ</sup>得ル<sup>ヲ</sup>勉<sup>メ</sup>ガ  
ルベカラズ故ニ地租ヲ増ス事ハ余ハ徹頭徹尾  
今日反對ナルニ非ズシテ將來ト虽モ反對ナリ  
若シ此ノ地租殆ンド今日ノ五割ニ近キ地租ヲ  
増シタランニハ今日ノ不景氣ハ又一層不景氣  
ヲ來タシテ且此ノ不景氣ヲ永續スルノ不幸ニ

陥ルナラント余ハ信ゼリ如何トナレバ我日本  
ハ猶幼稚先ツ農業國ト云フベキ國ニシテ商業  
製造ナドモ稍發達シタルガ猶幼稚ノ觀ヲ免レ  
ズ日本ノ生産カノ十分ノ七以上ハ農業ノ生産  
ナリ農業ノ盛衰ニ由テ製造モ商賣モ總テ其支  
配ヲ受ケガルナシ則チ農業ノ盛衰ハ土地ノ盛  
衰ヲ支配スルカヲ有セリ而シテ農業ハ最モ危  
險多ク他ノ労働者ヨリ最モ困難ナル労働ヲナ  
シテ而シテ得ル所ノ報酬ハ最モ寡シ此ノ如キ  
モノニ向テ重税ヲ課スルハ全ク封建ノ思想ナ

リ曾テ封建ノ時代ニハ國家ノ經費ハ總テ農民  
ヨリ拂ヘリ今日ノ地租ハ封建時代又ハ地租改  
正ノ時ニ比スレバ固ヨリ薄シ然リト雖モ米價  
騰貴セルヲ以テ農民ヨリ租税ヲ増徴スルモ宜  
シキト云フハ單純ナル封建的思想ヨリ起レル  
誤謬ナリ是レ第一經濟ノ原理ニ依リ次ギニ國  
民平等ノ正理ニ依レリ租税ハ國民  
義務ヲ有シ國家ノ保護ハ國民平等ニ受クニモ  
係ラズ獨リ農民ニノミ重荷ヲ負擔セシムルハ  
甚ダ道理ニ背ケリ其點ヨリ云ヘハ則チ不正ノ

税ナリ經濟上ヨリ言ヘバ國家經濟ニ最モ不利  
ナル税ナリ國ノ繁榮ヲ妨ケ農業ノ生産カシ  
減<sup>減</sup>少<sup>少</sup>ルモノナリ論者或ハ言ハシ農業家ハ過當  
ノ餘裕アルガ為メニ贅澤奢侈ニ赴キ冗費ヲ  
増シ其ノ為メニ貿易上ノ権衡ヲ失ハント<sup>セリ</sup>故  
ニ農業ノ税ヲ増徴シテ商業ノ困難ヲ救ハント  
ト是レ蓋シ大ナル誤謬ニシテ農業ノ繁榮ハ  
決シテ商業ノ繁榮ヲ妨クルモノニ非ズ却テ之  
ヲ促ガシテ繁榮ニ赴カシムルモノナリ今日農  
民ノ生活ハ實ニ憫ムベキモノニシテ一朝凶歲

ニ過ヘバ直ニ負債ヲ起サハルヲ得ズ其ノ負債  
ノ利息ハ殆ンド今ノ國税ヨリモ多シ其ノ負債  
ノ利息及國税地方税教育費總テシテ合算スレ  
バ一億二三千萬圓ニ當レリ故<sup>想</sup>余<sup>ク</sup>此ノ憫ム  
ベキ農民ノ生活ヲ改良シ農業ノ繁榮ヲ促サ  
ハレバ<sup>將</sup>日本ハ食物不足ノ國ト<sup>ナラシム</sup>ル食物不  
足ノ國ハ實ニ困難ナルモノニシテ英國ノ如キ  
世最ニ冠タル國ニテモ食物不足ハ頗ル困難  
ナルモノナリ何トナレバ此ノ食物ノ價ハ總テ  
ノ商賣製造ニ大關係ヲ有スレバナリ殊ニ下等

社會ノ生活ホド食物ニ關係ヲ有セルモノハア  
ラズ故ニ何處マデモ農業ノ發達ヲ奨勵シテ國  
民ヲシテ我邦ニ出來ルモノヲ以テ生産スルヲ  
得セシムルハ經濟上尤モ安全ナリト思ハル農  
業ト商業トハ決シテ衝突スルモノニ非ズ一方  
ノ進步ハ直ニ他ノ一方ノ進步ヲ促カシ相待ツ  
テ國ノ繁榮ヲ來タスモノナリ而シテ余ハ信ズ  
國ノ繁榮ハ必ズ此ノ外國ノ關門タル所ノ貿易  
港ニ向テ利益ヲ及ボスナラント云々